

ス・ユ・ニ・日・中

版 コ ス ネ シ

道新 1614
 中口 1680
 高知新 1623
 新愛媛 1667

おろそ不利331.サーカス.一本道公演-236枚(本編)177枚(追加)
 選手33中口勢-1口体秋大会.170枚(本編)107枚(追加)

No. 4 0 4 36.10.13

一、捜査最終段階に入る

——武鉄汚職

武州鉄道の汚職事件を捜査する東京地検特捜部は、去る十日、永田大映社長を処分保留のまま、釈放することに決定。その夜東京拘留所を出所しました。

更に十一日には、橋本代議士夫人も釈放。同代議士が受取った六十万円は文子夫人の供述によりその殆んどが別荘の購入資金に当てられていたことが判明。これまでの「政治献金」という主張は、根柢から崩れ去つたものと見られ、同代議士の起訴は不動のものとなつたようです。かくて捜査は、いよいよ最終段階を迎えるにいたりました。

一、ヘナント総決算

気の早い優勝説にはやされながら水原さんの東映さんは姫路で阪急と対戦。米田に十安打を浴びせ土橋も初の三十勝をあげたものの平和台では西鉄に二連敗してヘナントはがぜん緊張します。

一方戦意喪失の大毎をカモに東映に待ったをかける南海の鶴岡親分。

セントラルでは、戦線から後退した中日が、権藤の新記録をかけて広島と対戦。

三十四勝をマークして三十二年ぶりに新人最多勝記録をあげました。

一方優勝を目前にしたジャイアンツを川崎に迎え撃つ最下位の大洋ホエールズ。大洋もねばって引き分けとなり劇上げはまたしてもお預け。然し、中日が破れたため優勝が決定、投手力の不振に泣いたシーズンだけに喜びもまた格別のようなものでした。

カメラスケッチ

一、民謡国体

——秋田

七年越しの夢となった秋田の国民体育大会は、町をあげてそれこそ盆と正月が一諸にきた様な大ききわぎ、なにしろ民謡国体をトリード・マークにした秋田大会とあっては開会式当日ごひろうする秋田民謡も婦人会のおばさんたちが念には念を入れてと最後の仕上げ。

又天皇、皇后をおそろいで迎える当局は、地元民の奉迎さわぎをよそに予行演習にも緊張感がみなぎっています。

その頃秋田駅では連日延べ一万七千に及ぶ役員選手団が続々と秋田入り、しかしようこそ秋田もなやみの種はつきません。なにしろ旅館という旅館を総動員しても収容能力はやっと六十%

残りも窮余の一策から民家宿泊へと相なる仕組、それでもまだ県内の見学組は泊る宿屋もない仕末に、市内駐とんの自衛隊がお手のものの野戦用テントを持ち出して無料サービスに名乗りを上げました。

かくてんやわんやの前哨戦もいよいよ、天皇、皇后到着の日を迎えて最高潮、ここでは見えないといきまきまお百姓さん相手に整理のお巡りさんしてんてこ舞い、そして十月八日の開会式当日、押しかけた観客はスタンドをあふれて場外の仮設スタンドから果ては見晴しのよい木によじのぼって見物する有様、民謡国体を合言葉に、郷土色豊かな国体をめざした第十六回秋田大会は米どころ秋田を象徴する竿灯おどりを皮切りにここに華やかに幕を開けたのです。

681

411枚

164枚

106枚